

令和 7 年度事業方針

2025 年度がスタートします。今年の世界情勢は近年まれにみる変化の一年になるだろうと推測する識者がいます。また、日本においても参議院選挙をひかえ、現在の少数与党の構図から政治情勢は混沌とするだろうとの憶測も飛び交います。

そのような情勢を展望するなかで、法人事業は今年度も「成長と充実」を念頭に置き邁進したいと思います。

そのためにも各事業所、部門は「評価・分析・判断」を怠らず、事業の目標、計画を定かにしモニタリングを欠くことなく、取り組むことが大切です。

さて、昨年の主要な事業とした子ども発達支援センターあいくるの運営、花ファクトリー、日中活動センターの霊園・墓地の草刈り事業、湘南しいたけの菌床製造は 1 年を無事乗り越えましたが、職員から広くアイデアを募り、組織の業績向上に繋がりたいとした改善提案制度は、現在までの提案率は 2.77% と低調なのが心残りです。

令和 7 年度は「今、新しいことの挑戦」として掲げた第 5 次中期事業計画（5 項目 17 細項目）の最終年度であります。令和 6 年度末までの着手率は 82%（*着手達成率は 53%、**着手未達成率 29%）であり、***未着手は 18% になっております。未着手の項目は 3 項目ありますが、今年度の計画に盛り込み結論に導きたいと思います。

一方、法人で運営する 4 ヶ所の事業所を複合させた建設中の「コミュニティプラザは一もに一」は令和 6 年度末に竣工を予定しております。この施設は法人設立以来、最も多くの資金を投入し、障害福祉サービス部門の拠点化を目指す事業であり、将来展望を見据えた計画であります。この事業は私ども法人の利益だけを求めることなく、国が提唱する地域共生社会の一助にとの思いから、地域の方も利用することを考慮に入れた事業です。グリーンエリア（芝生区域）、カフェ、レストラン（昼食のみ）イベントホール（講演会、研修会、各種販売会、趣味の会などの会場利用）なども設備し法人事業のグレードアップを図りたいと考えております。

これらの活動を通し、地域において障がいのある方への理解、交流促進の場として、社会福祉法人室蘭言泉学園の存在感を示したいと思っております。

最後になりますが令和 7 年度も全職員が「成長と充実」を念頭に入れ知恵を出し合い組織の活性化に向け、前に進みたいと願うところです。

* 着手達成率：着手し達成した。 ** 着手未達成率：着手したが未達成。 *** 未着手：着手していない。を示す。